

民間建築物の吹付けアスベスト調査結果について

国土交通省



国土交通省は、建築物の防災に関する各種調査結果(2008年9月16日時点)について公表しました。調査内容としては、①民間建築物における吹付けアスベストに関する調査、②既存建築物における窓ガラスの地震対策に関する調査、③既存建築物における外壁材の落下防止対策に関する調査、④大規模空間を持つ建築物の天井の崩落対策に関する調査、⑤既存建築物における広告板の落下対策に関する調査です。

吹付けアスベスト調査結果の概要は、以下のとおりです。

1) 調査概要

調査対象: 昭和31年～平成元年までに施工した大規模建築物(延べ床面積1000㎡以上)

調査建材: 吹付けアスベスト及びアスベスト含有吹付けロックウール

調査方法: 地方公共団体から建築物所有者に報告を求めること等により実施

2) 調査結果(2008年9月16日時点)

調査対象の建築物の数 : 273,266 棟

調査報告のあった建築物の数 : 227,534 棟

露出してアスベストの吹付けがされている建築物の数: 15,991 棟

指導により対応済みの建築物の数 : 9,226 棟

指導により対応予定の建築物の数 : 1,150 棟

3) 今後の対応

吹付けが露出している建築物の所有者等に対し、除去、封じ込め、囲い込みの対策の実施について指導するよう地方公共団体に要請予定です。また、小規模な建築物(1,000㎡未満)の民間建築物に関して、今年度中に効率的な調査方法を確立する予定です。

当社は、石綿障害予防規則に基づく事前調査等で多くの実績があります。改正に関する詳細など、疑問点はお気軽にお問い合わせください。

資料 2008年12月26日付 国土交通省

2009年1月8日付 建通新聞

品質検査箇所 加藤吉紀